

研修会名：第2回福岡リハ栄養ネットワーク研究会

開催日時：2026年3月1日（日）9：00～12：25

開催場所：桜十字福岡病院

参加人数：32名、特別講師1名、世話人7名 計40名

第2回目を迎えた本研究会では、特別講演に若林先生をお迎えし、「リハビリテーション栄養とサルコペニアアップデート」のご講義をいただきました。リハ栄養1.0からリハ栄養3.0へと進化してきたリハ栄養の軌跡を伺うことができました。症例検討では、実症例の難しさを実感しながらも、症例の捉え方を学び、ゴール設定の違いによる議論など活発なディスカッションとなりました。特に、若林先生への質問が多かったのも印象的でした。今回までは、世話人の中からの症例やミニレクチャーを担当してもらいましたが、次回からは参加者の中から次世代のリハ栄養を担う方々にご登壇いただく予定です。

プログラム

開会のご挨拶 代表世話人：原土井病院 薬剤部 中道真理子

症例検討

公益社団法人福岡医療団 千鳥橋病院 クオリティマネジメントセンター 中城文代

ミニレクチャー「リハ薬剤、多職種ポリファーマシーカンファレンス」

社会医療法人 原土井病院 薬剤部 中道真理子

東和薬品株式会社 PHR 説明

特別講演（共催 東和薬品株式会社）

「リハビリテーション栄養とサルコペニアアップデート」

東京女子医科大学病院 リハビリテーション科 教授 若林秀隆 先生

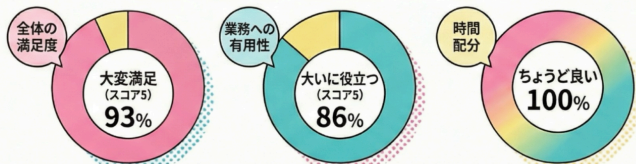
閉会のご挨拶：塚病院 リハビリテーション科 白土 健吾

第2回 福岡リハ栄養ネットワーク研究会 アンケート結果報告

急性期から生活期まで幅広い専門職が集まり、「リハ栄養3.0」や「多職種連携」について高い満足度を得た結果。

参加者満足度と構成

満足度・有用性ともに90%以上が最高評価



研修全体の満足度と業務への役立ち度において、回答者の大半が「大変満足」「大いに役立つ」と回答しました。

多職種が集う学びの場



理学療法士、管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士など、多様な専門職が所属の垣根を超えて参加しました。

印象に残った学びと知見

著名講師による最新知見と「リハ栄養3.0」

- 若林先生のカヘキシアやベスト体重、吉村先生の三位一体の取り組みへの関心が非常に高く示されました。

多職種グループワークによる視点の広がり

「他施設の取り組みを気軽に聞けた」「多職種でゴール設定する大切さを学んだ」との声が多数ありました。

モチベーションの向上と実践への意欲

1,000円という低価格ながら非常に質の高い内容で、明日からの実践への活力が得られたと好評です。

